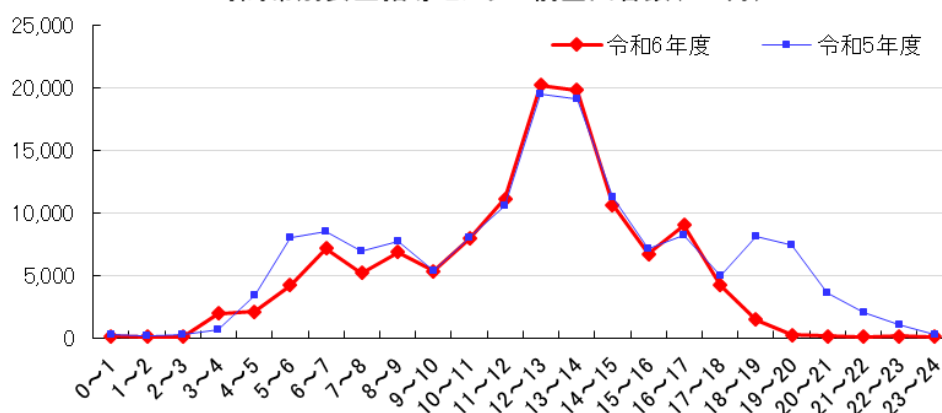


タイトル	令和 6 年度富士山吉田口登山道の登山者数および富士山八合目富士吉田救護所の実績（7 月 1 日～9 月 10 日）																										
内 容	今年度の富士山の登山シーズンが終了しましたので、富士山吉田口登山道の登山者数および富士山八合目富士吉田救護所の実績について報告します。 1 令和 6 年 7 月 1 日～9 月 10 日の登山者数について 登 山 者 数：132,904 人（R 5：160,449 人）/令和 5 年度比 82.8% （R1：185,807 人）/ 令和元年度比 71.5% カウント期間：7 月 1 日（月）～9 月 10 日（火） カウント時間：24 時間 <table><tr><td>登山者数</td><td>132,904 人</td></tr><tr><td>六合目安全指導センター</td><td>125,287 人</td></tr><tr><td>六合目吉田口登山道</td><td>7,617 人</td></tr></table> 【今年度の傾向】 今年度の富士山吉田口登山道の登山者数は、132,904 人であり、令和 5 年度の 160,449 人と比較して 17.2%減少しています。 また、世界文化遺産登録（平成 25 年）してからコロナウイルスが影響をもたらしたと考えられる期間（令和 2 年～4 年）を除き、最も少ない登山者数となりました。 山梨県側の吉田口登山道では今年度から弾丸登山・混雑緩和のため登山シーズン中に登山者規制のためのゲートを設け運用開始しています。 ゲートは午後 4 時～午前 3 時までの時間帯、または 4,000 人を超えた段階で規制されますが、登山シーズン中 4,000 人を超えた日は 0 日でした。 一方、ゲート閉鎖の運用が六合目安全指導センター前を通過する登山者に影響が及ぶと想定される時間帯を、午後 5 時～午前 3 時までとし、前年の同じ時間帯で想定し分析しました。 <table><tr><th>年度</th><th>六合目安全指導 センター前登山者数</th><th>規制影響登山者数 (午後 5 時～午前 3 時)</th><th>割合</th></tr><tr><td>平成 22 年度</td><td>259,658 人 (最大)</td><td>84,969 人</td><td>32.7%</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>177,724 人</td><td>36,337 人</td><td>20.4%</td></tr><tr><td>令和 5 年度</td><td>152,800 人</td><td>28,233 人</td><td>18.5%</td></tr><tr><td>令和 6 年度</td><td>125,287 人</td><td>6,737 人</td><td>5.4%</td></tr></table>	登山者数	132,904 人	六合目安全指導センター	125,287 人	六合目吉田口登山道	7,617 人	年度	六合目安全指導 センター前登山者数	規制影響登山者数 (午後 5 時～午前 3 時)	割合	平成 22 年度	259,658 人 (最大)	84,969 人	32.7%	令和元年度	177,724 人	36,337 人	20.4%	令和 5 年度	152,800 人	28,233 人	18.5%	令和 6 年度	125,287 人	6,737 人	5.4%
登山者数	132,904 人																										
六合目安全指導センター	125,287 人																										
六合目吉田口登山道	7,617 人																										
年度	六合目安全指導 センター前登山者数	規制影響登山者数 (午後 5 時～午前 3 時)	割合																								
平成 22 年度	259,658 人 (最大)	84,969 人	32.7%																								
令和元年度	177,724 人	36,337 人	20.4%																								
令和 5 年度	152,800 人	28,233 人	18.5%																								
令和 6 年度	125,287 人	6,737 人	5.4%																								

この時間帯は山小屋予約者や関係者などの通過も加味したカウントとなりますが、前年比 23.9%により、弾丸登山や混雑対策などに効果的な結果が得られたものと見込みます。また、21 時～24 時の登山者数は、昨年度に比べ 90.7%減少しました（令和 6 年度：317 人、令和 5 年度：3,392 人）。

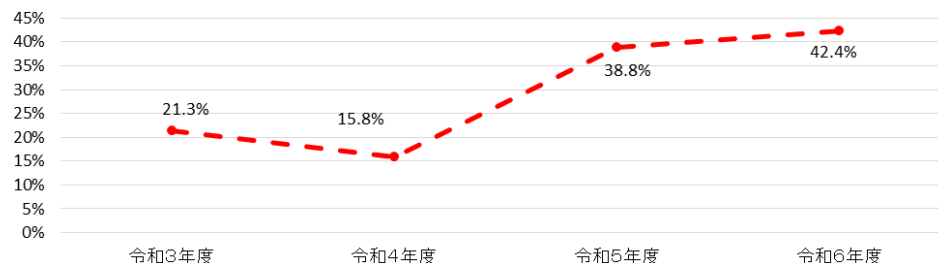
時間帯別安全指導センター前登山者数(7-9月)



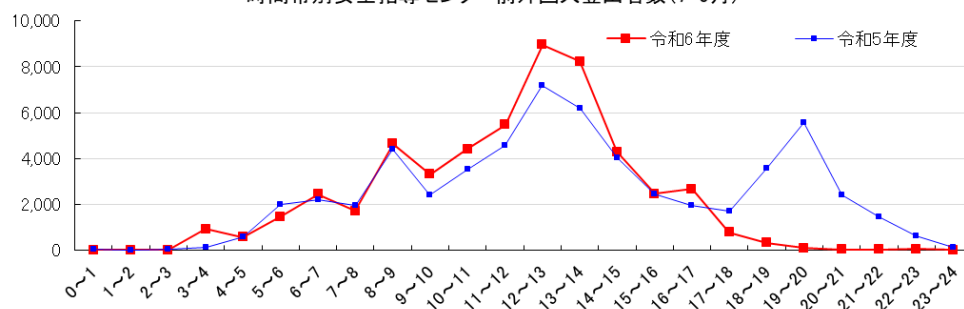
外国人登山者の傾向

時間軸を中心に昨年と比較分析したところ、外国人割合が増加しているにもかかわらず、規制影響外国人登山者数の減少（前年比 91.0%減 ㊤）が顕著にみられました。また、令和 5 年度以降外国人登山者の数が増加しており、今後も一定の割合で海外の方が登山されることが予想されます。

外国人割合推移



時間帯別安全指導センター前外国人登山者数(7-9月)



年度	六合目安全指導センター前 外国人登山者数	規制影響外国人登山者数 (午後5時～午前3時)	割合
令和5年度	59,293 人	15,660 人	26.4%
令和6年度	53,075 人	1,416 人 ㊤	2.7%

ヘルメット

平成 29 年度より実施しているヘルメットの無料貸出については、貸出個数は本年度 2,722 個となり、令和 5 年度の 2,681 個より 41 個増加しました。貸出率は 2.05%となり、令和 5 年度の 1.67%より増加となりました。

2 麓からの富士山吉田口登山道登山者数（馬返し通過者数）

※馬返しカウンターにて計測

年度	通過者数	1 日あたり人数
平成 29 年度	21,363 人	297 人（最大）
令和元年度	13,958 人	194 人
令和 5 年度	13,189 人	183 人
令和 6 年度	13,520 人	188 人

3 富士山八合目富士吉田救護所の実績について

平成 14 年より富士山八合目、標高 3,100mの太子館内に開設し、主に八合目以上で発生する登山者の怪我や病気などの診療にあたっています。救護所従事スタッフについては、山梨大学医学部附属病院、富士吉田市立病院をはじめ、県内外の多くの医療関係者のご協力をいただき運営しました。「安心・安全・快適な富士登山」実現のため、今年度は 7 月 5 日～9 月 10 日まで実施しました。

設置場所 ■ 富士吉田市上吉田字富士山北向 5618 太子館内（標高 3,100m）に併設

開設目的 ■ 登山者等の傷病に対する応急処置（診療費は無料）

診療科目 ■ 内科・外科の傷病に対する応急処置

開設期間 ■ 令和 6 年 7 月 5 日（金）～8 月 15 日（木）

8 月 18 日（日）～8 月 28 日（水）

9 月 3 日（火）～9 月 10 日（火） 合計 61 日間

※ 8 月 16 日（金）～8 月 17 日（土）は台風のため一時閉所。

8 月 29 日（木）～9 月 2 日（月）は台風のため一時閉所。

従事体制 ■ 1 班医師 1 名と看護師等の補助員 3 名（合計 4 名）を基本とし、

3 日間のローテーションで従事 ※ボランティアとして従事

30 班編成 合計 129 名

内訳（医師 34 名・補助員 82 名・準備撤収係 13 名）

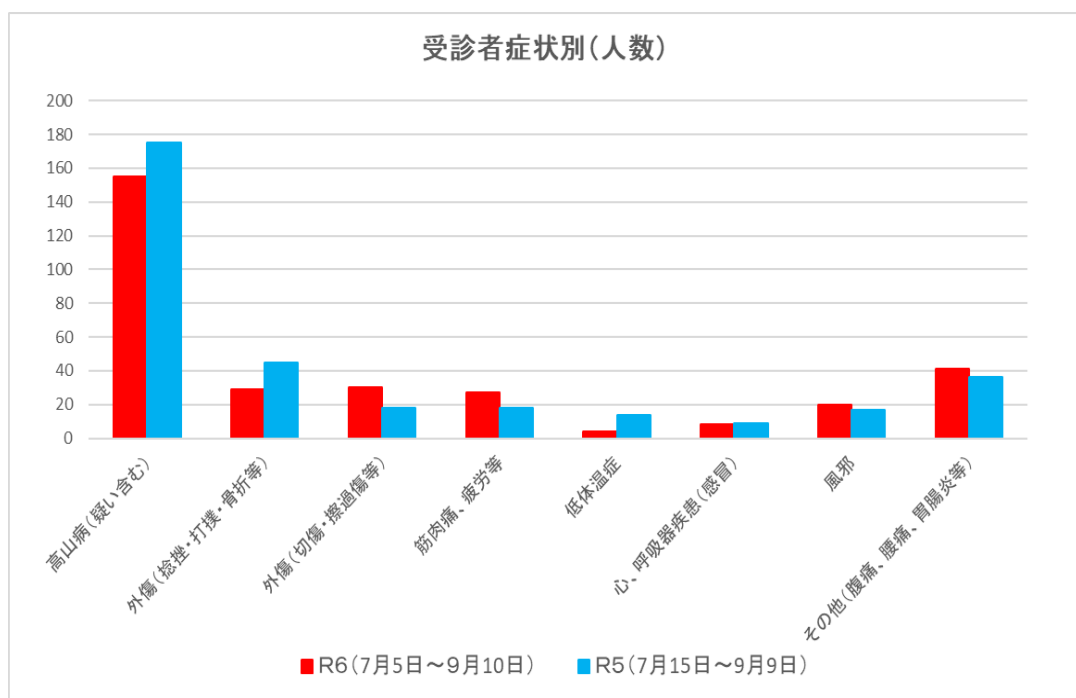
【年度別受診者数】

年 度	受診者数	一日平均	開設期間	登山者数
平成 20 年度	502 名（最大）	12.9 名	39 日間	247,066 名
令和 5 年度	332 名	6.04 名	55 日間	160,449 名
令和 6 年度	314 名	5.15 名	61 日間	132,904 名

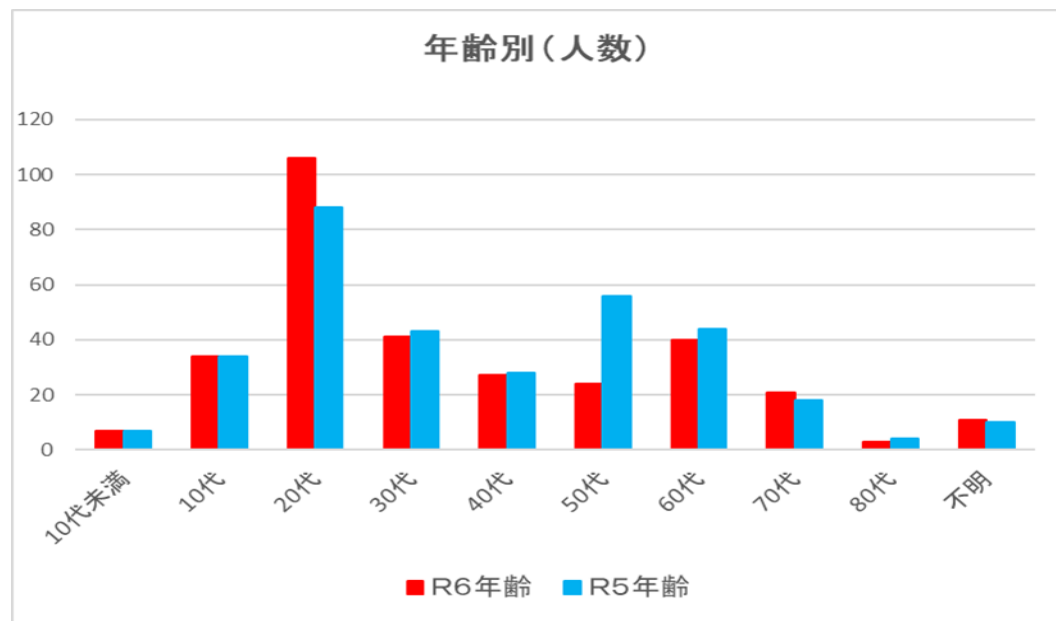
【受診者症状別】

受診者症状別	R6(7月5日～9月10日)		R5(7月15日～9月9日)		前年差分
	人数	割合	人数	割合	
高山病(疑い含む)	155	49%	175	53%	-4%
外傷(捻挫・打撲・骨折等)	29	9%	45	14%	-5%
外傷(切傷・擦過傷等)	30	10%	18	5%	+5%
筋肉痛、疲労等	27	9%	18	5%	+4%
低体温症	4	1%	14	4%	-3%
心、呼吸器疾患(感冒)	8	3%	9	3%	0%
風邪	20	6%	17	5%	+1%
その他(腹痛、腰痛、胃腸炎等)	41	13%	36	11%	+2%
合計	314	100%	332	100%	-

【受診者症状別（人数）】



【受診者年齢別（人数）】



以上

問合せ

富士山課

担当者名

羽田

連絡先

内線 423

備考